

科目名	公衆栄養学概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	林 宏一			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○

[ 到達目標 ]

公衆栄養学が社会に果たす役割を理解できるようになる。  
 公衆栄養活動の理念を理解できるようになる。  
 科学的根拠に基づく公衆栄養活動の重要性が理解できるようになる。  
 わが国および諸外国において実施されている公衆栄養活動に共通する展開の手法を理解できるようになる。

[ 授業概要 ]

集団の健康・栄養問題を把握し、適切な公衆栄養プログラム(計画・実施・モニタリング・評価・フィードバック)をマネジメントするための理論を学習します。さらに、わが国及び諸外国においてどのような健康・栄養問題が存在し、その課題を解決するために展開されている栄養政策について学習します。

[ 準備学修(授業前後の主体的な学修) ]

この科目は、社会と密接な関係がある内容を学習します。日ごろから、報道等に接し、健康・栄養問題にかかわる社会情勢を積極的に見聞しておいてください。  
 各回、予習復習合わせて4時間程度の学修をしましょう。

[ 授業計画 ]

1. 公衆栄養学の概念(公衆栄養学が目指すもの、公衆栄養活動)
2. わが国の健康・栄養問題の現状と課題(少子高齢化問題を含む)
3. わが国の食事・食生活・食環境の変化
4. わが国の栄養政策①(公衆栄養活動の歴史、法規、管理栄養士・栄養士制度、日本人の食事摂取基準)
5. わが国の栄養政策②(国民健康・栄養調査、特別用途食品・保健機能食品プログラム、栄養成分表示プログラム)
6. わが国の栄養政策③(健康づくりのためのツール、健康日本21、特定健診・特定保健指導他)
7. 栄養疫学①(疫学の概要)
8. 栄養疫学②(食事調査方法の種類と特徴)
9. 公衆栄養マネジメント①(理論と代表的モデル)
10. 公衆栄養マネジメント②(PDCA)
11. 諸外国における健康・栄養問題の現状・課題と対策
12. 食料安全保障と公衆栄養の役割
13. これからの公衆栄養学の展望と課題
14. 試験

科目名	公衆栄養学概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	林 宏一			
<p>[ 成績評価方法 ]  ①毎回の小課題レポート(60%)、②指定する課題についての試験(40%)で評価します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  フィードバックは、①については採点後の授業時に全体的なコメントを、②については採点後に採点結果の全体的なコメントを掲示することによって行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:栄養2-1-1/小児から高齢者にわたる国民に対し、栄養・運動指導ができる。  成績評価方法:小課題レポートおよび試験によって、評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:栄養3-2/国民の保健・医療・福祉のため、自己の知識・技術・経験をもてる限り提供することができる。  成績評価方法:小課題レポートおよび試験によって、評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小課題レポートによって、評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  健康・栄養科学シリーズ「公衆栄養学」改訂最新版 著者名:吉池信男他編 出版社:南江堂 (978-4-524-22527-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  日本人の食事摂取基準(2020年版) 著者名:厚生労働省 出版社:第一出版 (978-4-8041-1408-8)</p>				